

令和6年度第12回あおもり未来ミーティング（南部第5区連合町会）会議概要

日 時：令和7年2月13日（木）18：00～19：30

場 所：幸畑福祉館

テーマ：環境整備について ほか

参加者数：18名

市側出席者：市長、副市長、企画部長、都市整備部次長、交通部次長

■前回いただいたご意見への対応状況

⇒配付資料のとおり

■主なご意見等

○テーマに関するご意見等

- ・幸畑団地の道路の古い部分には、造成時に敷かれたアスファルトが残っている所もあり、この先のことを考え、年次計画を立てる等道路改修を考えてほしい。

⇒道路の補修について、幸畑団地内においては、今年度は4月から9月にかけて職員による穴埋めや部分舗装を行ってきた。来年度は、ご要望も踏まえ、業者による舗装工事を発注することとしており、幸畑一丁目付近から手掛けていきたいと考えている。

- ・幸畑団地内に公園が8つあるが、樹木が成長しすぎて困っている。事故が起きてからでは遅いため、手入れをしてほしい。

⇒公園の樹木管理について、特に幸畑団地内の樹木は、シラカンバやエンジュなど比較的成長が早い樹種が多く植栽されていることから、日頃から現場を注視している。令和6年度からは、予算を大きく増加して対応しており、幸畑団地内の公園樹木の対応は、幸畑西公園で剪定25本・伐採2本、幸畑南公園で剪定10本、幸畑東公園で伐採6本、幸畑ひばりヶ丘公園で伐採1本、その他街路樹として、幸畑団地大通り線で伐採20本を行い、市内全体の13%と比較的集中して作業を進めてきた。

- ・バスの利用者は、人口減少に伴い年々減ってきていると思う。ただ、団地全体の活性化などと絡めて考えると、市民の足としていつでもバスが走っているという安心感が一層必要になってくると思う。郊外の宅地と中心部とのアクセスについて、利用者が減ってきたから減らすという単純な発想ではなく、地域住民が暮らしやすい幸畑団地を維持してほしい。

⇒コロナ禍において落ち込んでいたバスの利用者は近年持ち直しの動きを見せており、令和5年度の決算では前年度より増加し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前には及ばないものの、令和6年度においても引き続き回復基調になっている。幸畑団地を経由する路線は、横内環状線や浜田地区への直通便などを運行しており、他の郊外エリアと比較すると運行便数や路線ルートもかなり多い地区で、手厚い運行状況となっている。今後も現状の運行規模を維持するためには、利用者ニーズの高い路線であることが重要となるため、多くの皆様に積極的に利用してもらえれば継続の源になる。

○テーマ以外に関するご意見等

- ・各町会がごみの回収ステーションを設け、そこへ地域住民がごみを運んでいるが、この先、住民の高齢化によりごみを持ち運べないかたが増え、冬場は特に大変である。中にはそういう方々をフォローする地域のボランティアを組織し活動しているところもあると聞いているが、今のところ幸畑団地はそこまでフォローできる体制にはない。ごみ問題の会議では戸別回収してほしいという話が時々出るが、一軒一軒の回収が大変であれば電柱1本ごとにする等の回収を検討してほしい。

⇒青森市老人クラブ連合会が行う高齢者の見守りがあり、それを兼ねてごみ出しが困難なかたのごみ出しの支援をしようと考えている。3月の議会で承認をいただければ、新年度から実施することになる。